

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

8.30 は全国で一斉行動を！

国会 10万人、全国 100万人で決起しよう！

8月9日、「9の日」行動—東京、京都、高知、大阪—

東京
シール投票で対話がはずむ



東京

憲法共同センターと憲法・東京共同センターは新宿駅西口で「9の日」行動にとりくみ、各団体から約40人が参加。寄せられた署名は約160人、シール投票にも多くの市民が参加しました。シール投票の結果は「戦争法案に反対」35人（賛成4人）、「安倍首相を支持しない」33人（支持する0人）となりました。

京都

京都憲法共同センターと京都総評はラポール京都ホールを貸切って

「9の日」地域騒然、一斉宣伝行動を実施。午前中、各労組・団体ごとに、ハンドマイクやのぼり・横断幕などを持参して60人が参加、17隊で京都市内全域の地域・路地裏の宣伝・署名を行いました。

昼には総評からカレー、自治労連からソーメンが出され、150食を完食。午後からも58人12隊が地域の路地裏宣伝を行いました。15時には西院で集合して30人近くで「9の日」宣伝行動を行いました。ハンドマイクなどの定点宣伝はのべ150回にもおよび、88人分の署名が集まりました。

京都市南区では「戦争法案の廃案をめざす南区実行委員会」の呼びかけで、17時から「九条通り」サウンドパレードが行われました。九条通りパレードは3回目、サウンドで盛り上がったのは初めてです。参加した市民100人は「戦争法案反対」「九条守れ」と口々にコール、沿道からは盛んな声援を受けました。



京都
地域騒然いつせい宣伝

高知

佐川町では、「うちの子もよその子も戦場に送らない佐川町民の会」が憲法9条にちなんで、9日、19日、29日に町内3カ所にある量販店前でアピール、署名活動を行っています。9日は、マルナカ前（18人）、サンシャイン前（16人）でとりくみました。

四万十市では、「戦争法を許さない幡多の会」が四万十川赤鉄橋下で集会を開催、250人が参加しました。集会には広田一・参議院議員が駆けつけ、集会後は市街地

高知
四万十赤鉄橋下での集



を一周するデモ行進を行いました。

土佐市では「土佐・吾川『安保法案』の廃案を求める会」がトンボ公園で「戦争法廃案」を訴えました。仁淀川筋の土佐市、いの町、日高村の人たち300人が参加しました。

大阪

池田市では、「ストップ戦争法案！池田集会」が開催され200人が参加、「こんなに大勢の集会は今までに

なかった」の声がありました。同実行委員会は7月24日に12団体で発足。戦争法案廃案に向け、国会会期中の運動継続を申し合わせました。

8日、岸和田市内で「戦争法案に反対する阪南地域連絡会」が「はんなん地域ピースパレード」を開催。個人・市民グループなどから600人が参加しました。参加者からは「障害を持った方、子ども、お年寄りまでパレードに参加しているのを見て、みんな平和が一番と思っている。力を合わせて訴えることができうれしい」などの感想が寄せられました。



毎週火曜日いっせい宣伝

8月12日、全国各地で「毎週火曜日いっせい宣伝」がとりくまれました。

【東京】上野駅マルイ前では全労連加盟単産などから25人が参加、29人の署名を集めました。シール投票を実施。「戦争法案反対」12人（賛成3人）、「安倍政権を支持しない」12人（支持する1人）という結果になりました。御茶ノ水駅は全日本民医連単体の宣伝行動で、事務局から15人が参加、21人の署名を集めました。

新宿駅東口では16人が参加、20人の署名を集めました。その他、巢鴨駅、大塚駅、西新橋、四ツ谷駅でとりくまれました。



六歳の女の子とお母さんとシール投票

【山梨】新婦人、民医連、県労、梨商連から約40人が参加し、にぎやかに署名宣伝を行いました。「ビラの裏に印刷してある政党や県選出国会議員へファックスを送りましょう」と呼びかけました。「兄をシベリアで亡くし、身内にも戦死者を出した。戦争知らない若い人が頑張っているの」と年配の女性が署名、戦争体験者だといって「9条を変えてはダメ」と年配の女性が署名、「いちゃうのけえ〜」署名した女子高生が仲間を呼び止めて署名…。43人分の署名を集めました。

山梨
女子高生も仲間と署名

8.30 全国 100 万人行動 呼応したとりくみを全国で！

全日本民医連は8月3日付で「8.30国会10万、全国100万人大行動」を結節点とした、戦争法案のための行動提起を発出。「国会行動に1万人、呼応する各地の集会に10万人の参加をめざします。すべての県連・法人・事業所でいっせい行動を具体化しましょう」と呼びかけています。

全労連は「全労連として必ず1万人以上の参加を確保する」とし、代表派遣と呼応する地域行動を呼びかけています。国会包囲の前段に12:15～主要駅頭（新宿、池袋、上野、有楽町、新橋）で大宣伝行動を設置しました。

北海道憲法共同センターは意思統一と総決起のための集会を8月19日（水）に開催します。

8月30日には全国で次のような行動が計画されています。

【秋田】秋田県議会九条の会 講演会（講師・小林節慶応大学名誉教授）

【山形】山形県弁護士会呼びかけの集会・パレード

【石川】共同の2000人集会

【新潟】8月30日（日）、上越市実行委員会で一日共闘の大集会とデモを計画。（規模1000人）

【大阪】扇町公園の大集会のほか、府下各地で自治体単位の集会などを開催、全体で3万人以上の行動に

【高知】「10万人国会包囲行動と全国100万人行動」に呼応した集会を、8月30日11:00～（丸の内緑地公園）開催予定。

【徳島】徳島県弁護士会主催の「安保法案」の撤回又は廃案を求めるパレードを計画。

【宮崎】若者憲法アピールウォーク

「ママデモ」メンバー 創価学会施設前でサイレントデモ



8月8日、東京の創価学会施設が集中するJR信濃町駅周辺で「ママデモ」メンバー6人は、「創価学会は平和主義。公明党は?」「平和主義覚えてる?」などと書かれたボードを掲げ、約1時間半、立ち続けた。その間、言葉での訴えは一切なく、聞こえるのはセミの声ばかり。

学会施設の「信濃平和会館」の入り口近くただただに、通りかかる学会員たちの目を引く。ジロジロ見る人、遠ざかってから振り返って見る人、「嫌がらせですか」と冷笑する人など反応はさまざま。それでも数人が声を掛けてきた。

「私は公明党员だけど、最近の党はおかしいわね。上の人の言いなり。自分の頭でものを考えていない」(女性)

「暑い中ごくろうさます。創価学会は戦争絶対反対です。安倍さんはどこまで本気か分からない。公明党の人たちにもどんどん言ってやってください。政権が暴走しないために与党にいるんですから」(女性)

「私もこの法案には反対です。今、学会員一人一人に語りかけているところ。皆さんも外から話をしてみてください」(男性)

この行動には、途中から創価大学の女子学生(学会員)も飛び入り参加した。「ママデモ」メンバーは「創価学会の中で声を上げるのは大変そうだけど、今日やってみて何人かと話せたのはよかった。音を出していたら対話はできなかったと思う」と話していた。(8月11日付連合通信隔日版より)

戦争法は抑止力にならない 元外務官僚、孫崎氏が指摘

元外務官僚(国際情報局長)の孫崎享さんが8月6日に国会内で講演し、安保関連法制(戦争法案)が中国に対する抑止力になるという政府の説明を「あり得ない」と批判した。講演は「戦争をさせない1000人委員会」と、国会議員でつくる立憲フォーラム共催の院内集会で行われた。

孫崎さんは、抑止力にならない理由として、新たな日米防衛ガイドラインの条文を挙げた。そこでは、島嶼(しょ)防衛について「自衛隊が主体」「米軍は支援・補完」と定められている。要するに、「米軍が戦闘に参加しなくてもいいようになっている」のだという。米軍が出てこないのでは、抑止力になりようがないという説明だ。

「超大国同士は軍事衝突を極力避けるという合意があるため、尖閣諸島でも軍事衝突を避けるのが米国の方針である」

ではなぜ、ことさらに「中国脅威論」が強調されるのか。孫崎さんは米国の右派系シンクタンク「ヘリテージ財団」の存在を指摘する。同財団のクリムナー・アジア部長が2012年の安倍政権発足を受けて書いた論文に注目すべきと指摘。そこでは、中国脅威論をあおることで、(1)日本の防衛費増額(オスプレイ購入)(2)集団的自衛権をめぐる柔軟な解釈(憲法にとらわれない米軍支援)(3)沖縄・辺野古への米軍基地建設——が可能になると述べていることを紹介し、日本政府はその線に沿って動いていると告発した。

孫崎さんは「日本政府は自分の頭でものを考えず、米軍に奉仕することばかりやっている。中国の軍事強化は事実だが、それと日本を攻撃することとは違う。尖閣諸島の問題は、過去の日中間の約束に従って棚上げすべきだ」と強調した。(8月11日付連合通信隔日版より)

明日！毎週木曜日国会前行動

【日時】8月13日(木)18:30～

【場所】衆院第2議員会館～参議院会館前

【主催】総がかり行動実行委員会